



## 幼児吃音の理解と対応 ～予防教育・レジリエンス～

2017年11月5日（日）13:30～16:30

嘉手納町中央公民館 大ホール

【〒904-0293 沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納 588】

定員：100名 参加費：無 料

対象：言語聴覚士、保育士、幼稚園教諭、吃音の子を持つ親、幼児教育関係者、吃音に関心のある方

問合せ先：わくわくクラブあすなる

（担当：言語聴覚士 玉城 TEL：098-956-1177）

主催：社会福祉法人 嘉手納町社会福祉協議会

共催：おきなわ吃音研究会

講師：伊藤伸二

日本吃音臨床研究会 会長

1944年、奈良県生まれ。明治大学文学部・政治経済学部卒業。大阪教育大学特殊教育特別専門科修了。大阪教育大学専任講師（言語障害児教育）を経て、現在伊藤伸二ことばの相談室主宰。日本吃音臨床研究会会長。国際吃音者連盟顧問理事も務めた。現在は言語聴覚士養成校の専門学校で吃音の講義を担当し、自身の吃音哲学を持ち、治すことに捉われず、「吃音とともに豊かに生きる」をテーマに全国で活動を展開している。

<13:00 受付>

13:30～14:45 理論編

吃音の取り組みを、

予防教育ととらえる意義

15:00～ 16:30 実践編

★両親指導の実際★

吃音について何を伝えるか

★言語訓練について★

言葉を育て、表現力を育てる

# 吃音を治すことにこだわらず

## 上手に付き合うコツを探してみませんか？

吃音があっても大丈夫。ことばは「人とつながるための手段。吃音があっても自分の思いは伝えることができる。どもりでも話せる。」ことばは治療するのではなく、育てるもの！

こどもの「自分のことば」を育てるためにはどうすればいいのか一緒に学びましょう。

こどもの生きる力、吃音とともに豊かに生きる！伊藤さんの話にはたくさんのヒントが隠されています。一緒に考えていきませんか？

吃音のことだけではなく、子育て、そして自分の生き方について振り返ることができるとても有意義な時間を過ごしてもらえると幸いです。

色々な立場の方たちのご参加お待ちしております。

### 吃音の マメ知識！！

\*繰り返し「こここここんにちは」

\*引き伸ばし「お～かあさん」

\*ブロック「……もしもし」

この見える症状は治らないと言われている

見える症状

思考・感情  
行動

吃音に対する考え方（思考）吃音は恥ずかしいなどの感情、  
そのために生じてくる、人と関わることを避ける（行動）などの  
見えない部分へのアプローチが必要と言われています。

この部分は変えることができます！！

### 吃音のこどもと関わる時に大切にしたい3つの柱



**波：**吃音の波現象にかけている。

どんな荒波にも立ち向かっていく力を育てよう。

**魚：**仲間を表現している。

あなたは一人じゃない。ありのままのあなたでいい。

**太陽：**どもったっていいじゃない。

どもってもキラキラ輝く未来が待っている！！

### おきなわ吃音研究会



小児の領域の言語聴覚士が集まり、月に1回吃音についての勉強会を行っています。昨年度より、吃音親子キャンプをスタートしました。治すことにこだわらず、その子なりの言葉で、コミュニケーションを楽しんでくれることを目標に活動している団体です。